
禁断の愛

境康隆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

「」のPDFファイルは、「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

禁断の愛

【著者名】

Z3863Q

【作者名】

境康隆

【あらすじ】

まるで断つことを禁じられた愛。 そう、 禁断の愛は永遠に

「何と言われても構いません。僕は彼女を愛しています
「私も彼のことを愛しています」

「しかしですね」

若い二人の男女を前にして、老齢の男は苦い顔で呟いた。顔に刻まれた皺が、更に苦悩で深くなつたようだ。

「先生に。弁護士の先生にご相談しても、無駄とは知っています」「若い男は女の手をギュッと握り、自らが弁護士と呼んだ男に身を乗り出した。

老人は確かに弁護士らしい。古びた弁護士バッヂを胸につけていた。

弁護士は事務所の応接室らしき場所で、恋人同士と思しき男女の相談に乗っている。

「先生。ですが、先生は私達を子供の時からご存知のはずです。僕たちが嘘を言うような人間ではないことは」

「知っていますよ。私は二人の家の顧問弁護士ですらね」

「ですから、私達の愛を信じて欲しいんです。結婚を認めて欲しいんです」

「お二人の気持ちは、本物だと信じていますよ。お二人のご両親も、そのご両親も真面目な方でしたから」

老弁護士は昔のことを思い出したのか、その記憶を受け止めるかのように深くイスに座り直した。

「では僕たちの力になつて下さい」

「結婚して、男の子と女の子が新しい家族に欲しい。そんな慎ましいことを望む、私達は普通の恋人同士なんです」

「ですが法律がお二人の結婚を認めていないのです。まさにその家族が壁なのです」

「理不尽です。兄妹だから結婚できないなんて……」

「兄を愛して何が悪いのですか？ 私達は真剣なんです」

二人は真つ直ぐな眼差しで老弁護士を見つめた。

「分かります。お一人が真摯にお考えなのは、よく分かります。お

父上もお母上も誠実な方でした。そのご両親も

「では、何とか私達兄妹の結婚を認めて」

「それはできません……」

老人の深い皺が奇妙に波打つた。それは何か口を動かそうとして、途中で止めたような皺の動きだった。

「僕は最悪、駆け落ちも考えています」

「私もです。兄となら、何処ででも生きていけます」

「……」

「先生。僕たちは本気ですよ」

「……分かりました。私は力になれません。法律もまげようがないかもしれません。ですが、実はお一人にはお話しておかなくてはならない秘密を知っています。この状況にもしかすると、役に立つかもしれないお話を……」

「何ですか、先生？ 私たちはどんなことでも受け入れます」

「……そうですか……」

老弁護士の皺は更に深くなつた。やはりそれは本人の苦悩と苦労を頬に刻んだ痕のように見える。

「ではお話しましょう。お一人のご両親は、実はこの事態を予想なさっていました。あなた方兄妹がいざれ結婚を考える程の仲になるだろうということです。その時にお話をすること、ことづかつていてる秘密があります」

「本当ですか？ 僕らの両親が？ まさか、僕らのことを？」

「秘密というのは…… まず、あなた方はご両親の愛の結晶ではありません。お一人ともです」

「何ですって？」

「僕たちが、両親の子供ではない。じゃあ……」

男は興奮に頬を染めて女を見た。女の顔も見る間に朱が差していく

く。

「そうです。厳密に言つと、あなた方自身は『兄妹ではないのです。何故なら……』

老弁護士は苦惱の皺を懸命に動かして微笑もうとしたようだ。だがどうやら失敗したらしい。

「先生、どうしました？ 何故そんな顔を？ これは僕らにとつては願つてもない話じやないですか？」

「それが…… あなた方お二人は、実はご両親それぞれのクローンなのです」

「そんな…… 私と兄が……」

「ショックでしうが、事実です」

「でも、僕らにとつてはやつぱり朗報です！ 二人はこれで、遺伝的には兄妹じやない！ 結婚が……」

「それができないのです……」

老人は皺が話しているかのように、その亀裂を苦痛に歪めながら口を開いた。

「私の弁護士としての初仕事は、ある男女の結婚の相談に乗ることでした。結婚して、男の子と女の子が新しい家族に欲しい。ただそれだけを望む、普通の恋人同士でした。その一人が兄妹である以外は…… ですが兄妹では結婚ができません。生まれてくる子供に遺伝的なリスクがあるからです。若い一人は苦惱の末法律上の結婚は諦めました。しかしせめて子供はと、二人の遺伝子から男の子と女の子の兄妹をもうけました。そうです。今度はその兄妹が恋に落ち、私のところに相談にきたのです。…………そしてその二人はやはりクローンで兄妹をもうけ…… そうです。それがお二人です。そしてあなた方もこう結論を出すでしょう。せめて子供はクローンで兄妹を」と

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3863q/>

禁断の愛

2011年2月3日08時58分発行